

## 旭川市における地域活動の状況について

### 1 地域活動団体の種別

#### (1) 町内会等

住民の任意により組織される地縁に基づく地域活動団体。市内に約 1,250 団体が存在し、その地域によって「町内会」「自治会」等名称が異なる。

活動内容としては、ごみステーションや街路灯の設置・維持管理といった生活上必要なインフラの整備から、地域の防犯・見守り活動、清掃・環境美化活動、地域の絆づくりのための親睦活動など、その地域の実情に合わせながら様々な活動を展開している。

#### (2) 地区市民委員会

町内会等の連合組織的な位置づけとして、町内会等相互の連携・調整を行う地域活動団体。市内に 63 地区存在する。

活動内容としては、町内会単独では解決することが難しい課題解決の取組や、より広範囲での連帯・親睦を深めるための取組、地域課題の解決に向けた行政等への要望活動等がある。

なお、地区市民委員会に所属するかどうかは各町内会等の任意によるため、地区市民委員会に所属していない町内会等も一部存在する。

#### (3) 地域まちづくり推進協議会

地域のまちづくりを担う多様な主体（町内会や地区市民委員会、福祉・商工関係団体、学校、各種 NPO 法人その他市民団体、地元企業等）の連携・協働による地域課題解決の取組を推進するため、旭川市が設置した組織。市内に 15 地域存在し、その地域ごとに特色を生かしたまちづくり活動・イベントが開催されており、基本的に町内会の加入の有無を問わず参加できる。

### 2 地域活動の課題とその原因

本市では、町内会や地区市民委員会といった住民主体の地域活動団体が、地域の課題解決や安心・安全で豊かなまちづくりのため、多種多様な地域活動を主体的に展開している。

しかし、近年急速に進行する少子高齢化や核家族化、共働き世帯の増加等といったライフスタイルの変化を背景として、地域のつながりの希薄化が進むとともに「**町内会加入率の低下**」「**活動の担い手の減少・高齢化**」「**地域活動の停滞**」等の課題が深刻となっている。

(なお市内全体の加入率は 56.0% ※令和 4 年 4 月 1 日時点)

こうした課題の原因はさまざまであるが、本事業では特に次の三つに着目して課題解決を図ることを目指す。

### (1) 町内会の活動内容を知る機会の少なさ

町内会未加入者や活動に参加する機会の少ない加入者にとって、町内会が何のためにどのような活動をしているのかを知る機会がなかなか得られないのが現状である。過去のアンケート調査における「地域活動へ参加しない理由」の設問では、「参加するきっかけがない」「活動内容や行事に関する情報がない」という意見が一定程度寄せられており<sup>\*1</sup>、情報が適切に住民へ届けられていないことが町内会加入率の低下や活動に参加する住民の減少といった課題に直接つながっていると考えられる。また、地域活動へ参加していない層は比較的若い世代である<sup>\*2</sup>ことから、活動の担い手の高齢化といった課題にも影響を及ぼしていると考えられる。

### (2) ライフスタイルの変化とアナログ中心の町内会活動とのギャップ

前述のとおり、現代社会では核家族化や共働き世代の増加等をはじめとするライフスタイルの変化が進み、忙しく毎日を過ごしている現役世代は多い。一方で、町内会活動のイメージといえば、紙や電話での連絡、会議等対面によるコミュニケーション等といったアナログ方式での活動が主となっている。だからこそ地域の絆づくりとしての意義があるという面もあるが、活動全てがアナログだと、生活時間に余力のない現役世代が活動に関われる余地が少なくなってしまう。これは、前述のアンケート「地域活動に参加しない理由」の最も多い回答が「忙しくて参加する時間がない」という結果にも表れており、限られた時間でも活動に参加できるような仕組みの構築が必要ではないかと考えられる。

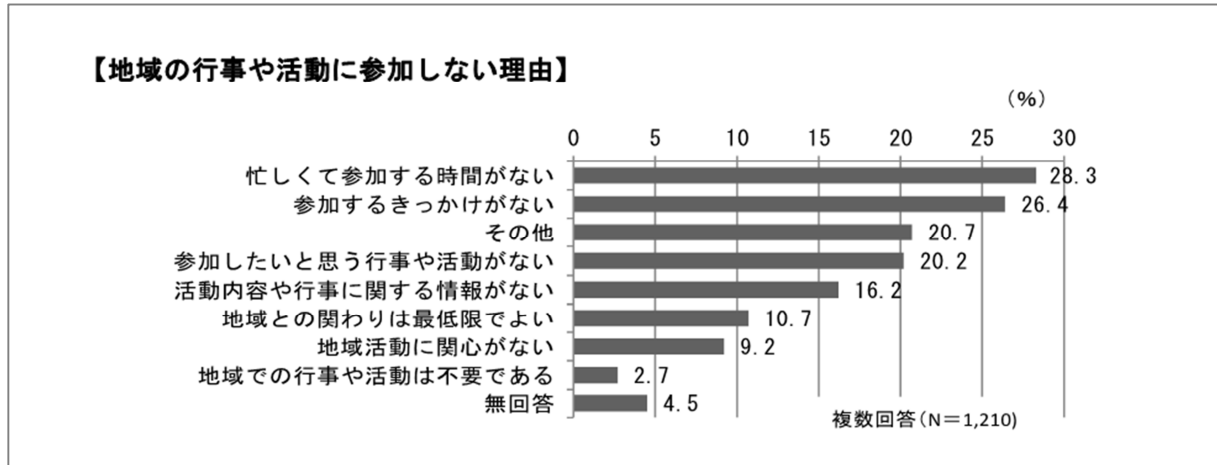
### (3) 役員に対する業務負担の大きさ

町内会長、副会長、総務部長、会計、その他各部長、班長など、町内会には多くの役員が存在する。各役員はそれぞれの役割に応じて業務を担うが、近年の担い手不足もあり、役員に対し業務が集中しがちな状況にある。

例えば「回覧板」による地域内の情報共有については、令和元年度のうち約10か月間における旭川市から町内会に対する回覧依頼文書はおよそ70件弱あり、届いた文書を役員が班ごとに仕分け、班長へ渡し回覧を行っている。しかし共働き世帯の増加により日中家にいない家庭が増えた分、回覧に時間がかかるようになった点、また近年の新型コロナウイルス感染症流行による回覧時の接触への不安から使用を取り止めたいとの住民からの意見が複数寄せられた点などから、「回覧板」という情報共有手段が十分に機能しなくなっているという現状がある。

これ以外にも、行事の出欠確認を紙で集めるのは手間が大きい、総会資料の印刷費・配布にかかる労力が重い、役員会議への出席により時間が取られるなど、アナログ中心の業務による手間や労力を理由に役員への就任を避ける会員、もしくは役員への就任を避けるがために町内会に入らないとする声も寄せられている。

※1 令和3年度市民アンケートより「地域活動に参加しない理由」



※2 令和3年度市民アンケートより「地域活動への参加状況」

